



福井県コンクリート診断士会（会長・石川裕夏

# 30人参加、河内川ダムで 県コンクリ診断士会が見学会

—若 狭—

福井宇部生コンクリート常務取締役）は13日、若狭町で19年5月末の完成を目指し工事が本格化する「河内川ダム建設工事（ダム本体工事）」の現場見学会を開いた。

この日は、会員約30人が参加し、工事を施工する西松建設・竹中土木・キハラコーポレーション・長崎組特定建設工事共同企業体の河内川ダム出張所で事業概要など説明を受けた。冒頭、石川会

工事が本格化する河内川ダムの現場を見学する参加者

長は「ダム建設工事の施工現場を見学し、コンクリートの品質管理に役立ててほしい」などとあいさつした。  
また、工事関係者からダムコンクリー

トの配合割合や国内最大規模となるダム用クレーンの作業内容、施工速度やコスト面で中規模ダム建設に最適なコンクリート打設工法「拡張レヤエ法」などの報告があった。その後、参加者は若狭

町熊川地係の工事現場付近に移動。工事関係者から説明を受けながら、ダム本体コンクリートの施工状況および現地バッチャープラント（コンクリート製造設備）を見学した。